

長崎サミット『オープンイノベーション宣言』 マインドセットセミナー

- テーマ：東京×長崎:オープンイノベーション
～おさかなサブスクプロジェクト～
- 開催日時：7月21日(水) 14:30~17:00
- 次第：14:30 ご挨拶(長崎都市経営戦略推進会議 議長 小川洋)
14:35 講演(質疑応答含む)
16:00 休憩
16:10 交流会
17:00 終了
- 登壇者：伊藤忠インタラクティブ株式会社(現地1名、オンライン2名)



土居 充 プロデューサー

長崎おさかなプロジェクトのメイン担当。デザイナー出身のプロデューサー。元エンジニアであったり、WEBメディアやイベント企画等、担当領域を越境し、新しい取り組みを考えることを得意としている。



水谷 正紘 コピーライター/プランナー

長崎県長崎市出身。伊藤忠商事の次世代化プロジェクトのコンセプトメッセージデザイン、ワタベウエディングの新事業のブランドメッセージ等、ブランディングに係るメッセージ、コンセプト設計の実績多数。



松本 純一 アートディレクター

長崎県大村市出身。練馬区のシティプロモーション、「いまできること」「みんな元気になるトイレ」「みんな元気になる福祉避難所」等、産官プロジェクトにまつわるサービスコンセプト設計、ブランド、サービス、製品プロモーションのアートディレクション、デザインの実績多数。

- 内 容 :

「おさかなサブスクプロジェクトとは」

在京企業伊藤忠インタラクティブ(以下 IIC)の企画について、在崎企業ジョイフルサンアルファ、F-DESIGN 長崎が連携し、長崎県、市、地銀によって運営される長崎のオープンイノベーション拠点 Co-DEJIMA がサポートし、現在、東京×長崎の実証事業として、進行中のプロジェクト。

最新の冷凍技術で凍らせた長崎の美味しい魚を関西以東の首都圏中心にサブスクリプションサービスとして展開していく予定。

前半・・・事例紹介:

長崎市にも進出している東京の大手 SI 企業 CTC が持つオープンイノベーション施設 DEJIMA との地方創生ワークショップ「デジマ式 plus」へ、長崎市が持ち込んだ「漁業関係者の所得アップ」という課題に対して、IIC が出した企画をきっかけに開始。

同企画について長崎側のメンバーである地銀、行政、地場企業が一体となり、実証実験まで1年というスピード感で実現。

長崎と東京という、距離も利害関係も異なる組織間の連携、長崎チームと伊藤忠グループのアセットの組み合わせをどのように実現してきたか、そのプロセスを紹介しながら、全体の目線を一つにするため、中心に設定されるストーリー設計、ブランディングという考え方の重要性について紹介。

後半・・・交流会:

IIC という会社は伊藤忠グループの広告代理店的な事業会社で、伊藤忠グループ内のアセットを活用した事業創出、事業創出支援を行うというユニークなミッションを持った会社であることから、そういった特異性、ならびに東京側の企業として、今後、長崎の事業者とどのような取り組みが出来そうかについて、ディスカッションの時間を設定。